

ここが好きだからいい形で残したい

—河北町のミニドイツをめざして—

河北町漁業協同組合婦人部所属はまなす会
会 長 坂 下 清 子

1. 地域の概況

宮城県桃生郡河北町にある長面、尾の崎地区は北上川が流れ込む追波湾に面し、海、浦、山、川の自然に恵まれた地域で、海岸線は内陸に複雑に入り組んだ浦を形成し風光明媚な地域として知られている地域である。

2. 漁業の概況

昔から漁業が盛んに行われてきており、河北町漁業協同組合は組合員104人（正組合員79人、準組合員25人）で採藻漁業や刺し網等の小型漁船漁業を営んでいる地域で、静穏な海域を利用したのカキ養殖業やアサリ採取等も行われている。

3. 研究グループの組織と運営

昭和55年に地域内の半農半漁の女性5人で「はまなす会」を結成し、生活改善活動を開始した。活動歴の長い先輩グループとの交流や地域内や県内の会員との出会いに刺激を受け、地域生産物の活用技術や生活運営を学び、豊かな自然と美味しい海産物、農産物を活かし、また、人との出会いを大切に活動の仲間入りをした。

4. 研究・活動課題選定の動機

私たちが住んでいる地域が半農半漁地域であるため、結婚と同時に漁協婦人部、農協女性部、地域婦人会、生活改善グループ等の組織の中で勉強する機会に恵まれ、どの組織に参加しても、皆、地域のことを大切に考え、人とのふれあいを求め、家族の幸せを考え、常に何かを求め、自分を高めようとイキイキと頑張っているお母さん達の姿に出会った。

参加するたびに、浜の人達は浜を活かした生き方、農家の人達は農を大切にしたり取り組みをしている姿に大変心をうたれ、自分の住んでいるところを見直すきっかけになった。

もったいない物が目も当てられずに捨てられている現実、現金収入を求めざるをえない忙しすぎる現在の生活のあり方、自然豊かで四季折々の美味しい物を活かしきれない等、どうにかしたいと思ってもなかなか行動に移せない毎日だった。そんな思いを「夢ノート」として書き続け、古ぼけたノートが20年分残っている。

そんなある時の農業改良普及センターでの研修会で、福島県の飯舘村の菅野公民館長の「人生は片道切符」という講演を聴く機会があり、‘一度しかない人生を自分なりに生き暮らし方をしないと後悔をしますよ’といった内容であり、地域や家庭でいろいろなしがらみの中で暮らす女性への力強く、心暖かい励ましの内容に、その一言、一言がいつまで

も頭から消えなく、「夢ノート」に書き綴ってきた「体験民宿」への思いが更に募り、実行する決意を固めた。

5. 研究・実践活動状況及び成果（効果）

1) 家族や仲間の支援

家族の理解が大切と夫と2人で福島の菅野館長を訪問した。

飯館村の女性達の活動に身近にふれ、さらに「体験民宿」への思いが高まり、家族やはまなす会の仲間の理解を得、具体的な計画まで立てるまでになった。

2) 漁家レストラン「のんびり村」のスタート

「体験民宿」が夢だったが、施設や資金の関係等もあり、少額の出資で済む食堂の許可を取り、平成5年に予約制の浜のレストランをスタートする事ができた。レストランは昔の板蔵を改造し「のんびり村」と命名し、どっしりとした木の感触を活かし、食器類も蔵との調和を考え昔の物を利用することにした。

レストランのメニューはその日の朝に海で採れた新鮮な魚や長面浦で養殖したカキ、家の前の畑で作った野菜等、田舎の素朴さ活かしている。

3) ドイツのグリーン・ツーリズムに学ぶ

レストランを始めたことにより新しいネットワークが広がり、平成7年にヨーロッパの農村景観やグリーン・ツーリズムを研修する機会に恵まれた。

緑と花に囲まれたすばらしい景観と、自分の住んでいる地域を誰もが誇りに思い、古い物を大切にしたいドイツの暮らしが強烈に脳裏に焼き付き、グリーン・ツーリズムという言葉の意味の深さに驚き、13日間農家民宿を体験しての研修だったが、日本の宮城県河北町での自分たちの暮らしを反省する機会になった。

4) 尾の崎地域の環境点検

漁業を営む地域にとって海は大切な財産です。定期的に海の清掃や、ゴミを捨てない呼びかけをしているものの、なかなかきれいにならないのが現実である。そこで、はまなす会の会員で集落内の環境点検ハイキングをし、自慢の景観、史跡名勝、ゴミで汚れている場所、ゴミが集まる浜等の調査をし、ゴミのない気持ちよい環境の大切さを再確認した。漁協婦人部にも呼びかけ、「みんなで美しい尾の崎を」のパンフレットを作り、はまなす会と河北町漁協婦人部の連名で地域内全戸に配り、誇れる尾の崎づくりや、海にゴミを捨てないこと等と呼びかけた。

また、ゴミ集積所の美化のために、はまなす会の会員で花壇を作り、当番を決め、一年中美しい花が見られるようにした。

5) 自然の中の宝物の発見

環境点検ハイキングで集落内のゴミの多さに驚いたが、このゴミを利用しリースや看板等を作ることをクラフトデザイナーの遠藤凌子先生に教えられる機会に恵まれた。今までゴミだと思っていた、裏山にある藤のつる、浜に打ち上げられたや板や木の実、貝殻、ほやの殻やいらなくなった漁網等が生まれ変わり、又新しい目で尾の崎を見ることが出来た。海のリースづくりは体験メニューとして取り入れており、のんびり村の土産品としても喜ばれている。

今ではこの自然豊かな地域全体が宝物のように思っている。

6) 友遊の小屋での体験交流

地域の仲間の交流の場や田舎を知らないのんびり村のお客さんの遊び場所として、自宅から少し離れた海辺に、手作りの山小屋を作った。昨年3月に完成し、‘友遊の小屋’と命名した。自然を満喫しながらの交流や、グリーン・ツーリズムの勉強会に役立てていきたいと思っている。

6. 波及効果

はまなす会の花いっぱい運動や、海を汚さない呼びかけは少しずつ浸透し、子供たちが花壇に水をかけてくれたりするまでになり、老人会の人達も地域のゴミ問題に関心を示しリサイクルに協力してくれるようになった。若者達の間にも地域の自然の豊かさを残し、水辺をきれいにするために、出来ることからやっといこうと活動が始まっている。私自身も、昼は太陽で海が輝き、夕日が沈む頃空が茜色に染まり、1日の海の仕事が終わるころ雑木林の中から「カナカナ」と蝉の鳴き声を聞く時や星のきれいな夜はここに生まれて良かったと心から思え、のんびり村を訪れる人にも、地域の自然を自信を持って話せるようになっていく。

7. 今後の課題や計画と問題点

昨年、「森は海の恋人」という唐桑町の畠山先生の講演を聞く機会があり、岩手県から流れてくる北上川のこの宮城県の河北町にもたらす恵みのありがたさと大切さを改めて強く感じている。

9年の正月あけ、海の汚れの為かカキの出荷が出来なくなった。10年も水揚げが半分以下の結果だった。ここに住んで漁業をしていく私達にとっては重大な出来事であり、いつまでもきれいな海を守り、いかに自然と共に生きるかが今後も大切な課題である。

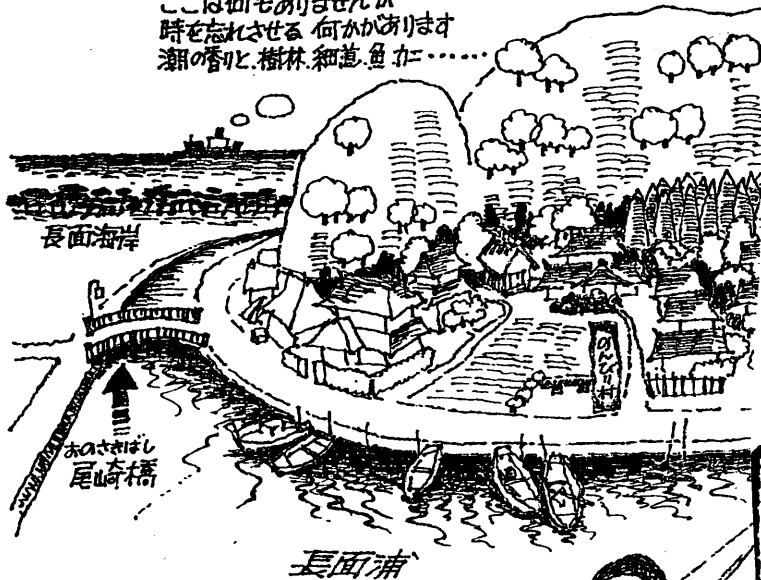
昨年の秋、地域内の各団体やグループの人達と町の環境担当課との話し合いを数回もち、この地域を考え、守り、行動に移そうと地域の環境を考える会「クリーン・白馬会」を12月に結成した。私達ははまなす会も全員会員として参加し、長面浦周辺が桜やはまなすの四季の花が咲き水辺のきれいなロマンチック街道と名付け河北町のミニドイツといわれるような地域づくりをめざして行きたいと考えている。

ここが好きだから、いい形で残したい。

ながつららな
長面浦のほとり

のんびり村

ここは何もありませんが
時を忘れさせる 何かがあります
潮の香りと、樹林、細道、魚が……



村のようす

北上川を下り、太平洋に出たところが
私の住む尾崎の崎(おのさき)です

長面浦は、長面海水浴場の手前あたり
周りを山に囲まれ、山林から流れ込む水と
海水とが調和し、プランクトンが豊富で
魚貝類がとてもおいしいのです

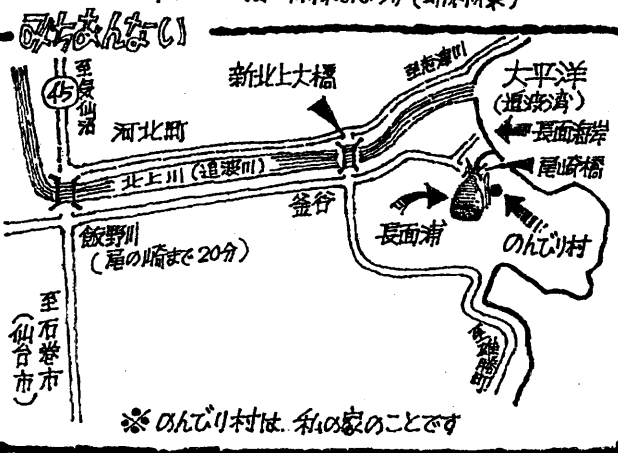
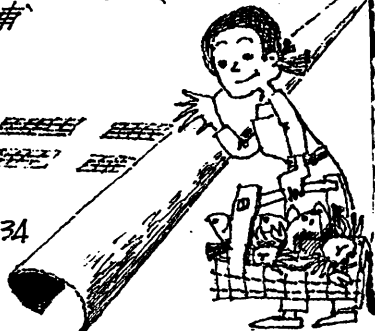
…… 自然の恵みを大切に、来て頂いた方に
「のんびり」できたと言われるような おもてなし
をしたいと思っています

村の行事

正月	村にある神社(おまじい)
6月8日	村のおまつり(お神楽・久須志神社)
8月6日	お盆(灯ろう流し・盆おどり参加)
9月1日	海の神様おまつり(晴神様)

のんびり村の村長 坂下 清子

宮城県桃生郡 河北町 尾崎字 宮下 134
〒986-01 電話(0225) 64-2725
FAX(0225) 65-2628



※のんびり村は、私の家のことです

のんびり村の紹介

我が家は150年前に建てられた
「蔵」がありました
これに少しだけ手を加え
蔵の持つ伝統を味わって
頂きながら……
「のんびり村」のいなごらしを
楽しんでいただくことを最大の
モットーとして開村いたしました
極度の「静」「素朴」
「豊かな緑」「ホッとする人情」「星空」……
の体験が「のんびり村」と
どのように関わるか
探検においで下さいませ
お待ちしております



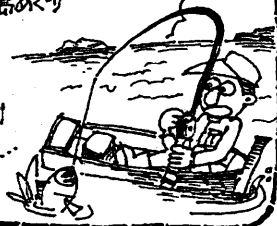
浜でとれるものが主体です
季節によって何が出ますか
魚貝類の旬を楽しんで下さい
ナガ、ホタテ、カニ、ウニ、白魚、カレイ、アサギ……
炭火焼・刺身
ごはんものなど

私の夢は「農家民宿」

のんびり村は、7月の民宿
と異なり、宿泊者のための施設
ではありません
「シメーのお世話話」料理
の提供が主でございます……が
この恵まれた自然を活かし
花いっぱい「ミニDIY」と云われる
ような地域づくりを
夢んでいます。

おもしろ体験学習で のんびり楽しんで下さい

海浜でのバーベキュー
キャンプファイヤー
舟乗り、凧揚げ
潮干狩り
網おこし
かきおき
いかだ作り
畑仕事……



みんなで 美しい尾崎を

- 海を守りましょう！
ゴミを海へすてていませんか？
- ゴミは決められた日に出しましょう！
週1回 もえるゴミ
月2回 もえないゴミ（カン・ビン）



ゴミはルールを守って、きちんと始末。
美しい誇れる尾崎をめざしましょう！



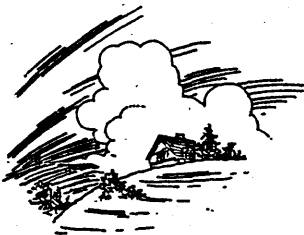
漁協婦人部
はまなす会

のんびり村 便り

友達の小屋

友達と楽しく遊べる場所を...と
考え みんなで小屋を作りました。
それが「友達の小屋」です。

自然大好き人間の集まりです。
手作りして自分の空間を作、てみませんか。
のんびりとして 本当に来て良かったと
時間を愛しくなります。



来て自分を自然の中へ
うめて下さい。
ま、と新しい発見が
あるはずです。

のんびり村



今、子供達に必要なのは
自然の豊かさも肌で感じさせる
事が一番のおな気がします。

のんびり村 ならではのぬくもりを
ぜひ感じて下さい。

- ① 流木をひいて
海のリース作り
- ② 小さいいかだも作って
海の上で遊ぶ(フリスビー)

遊び心が
どんどん
広がります。

ぜひ
お越し
下さい。



〒986-0113
宮城県利根郡 赤松町
尾崎字宮下134

TEL 0225-64-2725
FAX 0225-65-2628

